

保育及び子育て支援に関する調査研究報告書 -平成 16 年度-

II. 調査結果の分析

10. 保育士が期待されていること

地域と所在地区別ほとんどの地区の支持率トップ、イ『子どもの気持ちをよく理解できる』は北信越地区民営 86.4%や九州地区公営 83.1%を始め公営、民営とも全国的に 70%を越え、2位キ『職員や保護者からの信頼が厚い』共に他の項目に 30%余の差をつけていた。第3位エ『子どもをきちんと叱ることができる』は近畿地区で公民共に 33.7%という期待度。カ『保育知識が豊富である』は九州地区 39.0%と関東地区 35.9%の公営、中国・四国地区民営 34.3%が 30%を越えていた。5位同率のオ『やさしくて、思いやりがある』ク『職場のチームワークを大切にする』の双方を北海道・東北地区公営は 32.6%と最高値であった。民営からの支持が高い項目ア『子どもから慕われる』は東海と北海道・東北地区で公営との差が大きかったが、ウ『明るくて元気がよい』では関東地区が大きかった。

また支持順位が近畿地区では第1位から4位まで公民一緒、中国・四国地区も1位から3位まで同順位であった。

所在地区別ではより変化が感じられる結果もあった。イ『子どもをよく理解できる』民営より公営の数値が唯一すべての地区で上回っていた。キ『職員や保護者からの信頼が厚い』では都区部・ほ指定都市公営（民営との差が最大の 20.2%）を始め、県庁所在地、中都市と公営が高いが小都市や町・村では逆に民営が高く、地区ごとの差も最大であった。また小都市Bにおいてはエ『子どもをきちんと叱ることができる』ク『チームワークを大切にする』カ『保育知識が豊富である』3項目が公民共に 30%を越える数値であった。

その他の項目 2.4%という僅かな数値のなかに、その期待をあらわす切実な願いも記入されていた。

- ・保育士自身が一人の人間としてしっかりと生活ができていること
- ・健康で仕事に穴を開けない
- ・保育者自身心身の健康、(感情、情操、情緒の安定した人) など